

宴会(一般)部門

【改装計画 ～宴会(一般)関連施設】

- ◆ 2017年4月1日：小宴会場「三宝の間」、「秀丽の間」販売開始（3階への新設）
※ 改装により宴会場は2室増え、大小全15室となる（改装前：全13室）
- ◆ 2017年4月1日：大宴会場「古今の間」へ新設備導入、販売開始(デジタル化改修)

■ 宴会(一般)関連施設改装の基本方針 ～MICE等のニーズに対応した施設・設備の機能向上～

市内最大規模を誇る1200㎡の大宴会場の他、これまで大小13室の宴会場を備え、開業以来多くのお客様にご利用頂きましたが、特に大型MICE案件等では、分科会やプレスセンター等の控室が多く必要となり、小中の宴会場が不足する状況が発生することから、3階のウェディングサロンの在ったスペースを多目的に運営できる小宴会場へ改装し、小宴会場2室「三宝」(66㎡)と「秀丽」(40㎡)を新設、さらに、各小宴会場の内部にスライディングウォールを設置して各2分割を可能とした。

また、開業時より宴会場名は「平安～室町」期の文学作品を由来としており、新宴会場においても同様のコンセプトでネーミングしている。

- ・「三宝(さんぼう)の間」…「三宝絵詞」984年、源為憲による仏教に関する作品より
- ・「秀丽(しゅうれい)の間」…「文華秀丽集」818年、平安時代前期の漢詩集より

■ 宴会場施設・設備のデジタル化の推進

- ・ 大宴会場「古今の間」(最大730㎡、3分割可能)に、今後のMICE案件獲得において必須項目となる大画面でも高解像度かつ鮮明に投影できる高性能プロジェクターを新設
⇒ 会場内の暗転を必要とせず、あらゆるシーンで高輝度・高解像度での投影が可能となる強力なレーザー光源の高性能プロジェクターと大型電動スクリーン(200インチ)を3セット増設
⇒ 会場を3分割時は各機を個別に稼働可能、730㎡の大宴会場として使用時には3台を連携して様々な投影演出が可能となる

■ 今後の改装において、MICE案件等の大型宴会の受注増を最大の目的として、お客様の様々なニーズ

に対応できるように音響・照明・映像等の施設・設備のイノベーションを推進する



小宴会場「三宝の間(約66㎡)」
(スクール：27名、正餐形式：30名)



小宴会場「秀丽の間(約40㎡)」
(スクール形式：12名、正餐形式：20名)